

Affiliated with the International Association
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOUJI
Chartered October 30, 1994



〒 191-0053
東京都 日野市 豊田 4-25-6
山本 英次 TEL:090-3239-5355
Fax:042-589-5080
E-mail: h_yama1941@samba.ocn.ne.jp

2022年 3月

第321号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長	山本 英次	国際会長 キム・サンチェ(韓国) 主題「世界とともにワイズメン」
副会長	茂木 稔	スローガン「愛と尊敬で世界を癒そう」
書記	花輪 宗命	アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート) 主題:「100年を越えて変革しよう」 スローガン:「健康第一」
会計	小口 多津子	東日本区理事 大久保 知宏(宇都宮) 主題:「私たちは次の世代のために何が出来るか」 スローガン「絆を深める時」
直前会長	花輪 宗命	あずさ部部长 長谷川 あや子(八王子)
担当主事	中里 敦	主題:「道を拓く〜愛と協力によって」
プリテン	茂木 稔 山本 英次 大久保 重子	クラブ会長 山本 英次 主題:「コロナ禍を乗り越えて、新時代のクラブへ」

今月の聖句(2022年3月)

主はシオンを慰め そのすべての廃墟を慰め 荒れ野をエデンのように 荒地を主の園のようにされる。そこには喜びと楽しみ、感謝と歌声がある。

(旧約聖書-イザヤ書 51:3)

3月 例会プログラム

日時: 3月12日(土曜日) 18:00~19:30

場所: 北野事務所 2階大会議室

(担当C班 山本、大久保、茂木、並木(信))

受付: 大久保・並木(信)

司会: 茂木

- ・開会点鐘 会長
- ・ワイズソング
- ・ワイズの信条
- ・ゲスト・ビジター紹介 会長
- ・聖書朗読・開会祈祷 並木
- ・報告・相談・協議
- 現会長・次年度会長他
- ・スマイル 大久保
- ・ハッピーバースデー
- ・閉会点鐘 会長

*感染症蔓延防止下にあるため、会食はなし

先月の例会ポイント(2月)

在籍	12名	切手(国内・海外)	0g
メン	10名	累計	0g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	83%	累計	0円
メネット	1名	スマイル	0円
ゲスト	0名	累計	64,310円
ビジター	1名	オークション	0円
ひつじぐも	2名	累計	0円

第22回チャリティコンサート連続中止

久保田貞視

第22回春のチャリティコンサートは今回もコロナ禍の為に中止を余儀なくされました。2019年3月の第21回コンサートは八王子出身のソプラノ歌手奈良原蕨里さんの公演が非常に評判良く、再びお願いすることにしました。

2020年3月は、従来通り、チラシの配布、ポスターの各所への掲示、チケットも販売済でした。しかし、開催日の寸前になって新型コロナの感染が拡大し、会場は閉鎖となり、止む無く中止となりました。

次の2021年3月のコンサートは開催可能と判断し、チラシ、チケットの印刷、一部販売を開始したところ、1月

には緊急事態宣言が発出され、再び会場は閉鎖となりました。そして今回、12月末まではコロナは落ち着き安心したところ、1月初めからのオミクロンが急拡大し、まん延防止等重点措置が施行されております。

会場は使用出来るものの八王子市でも毎日300～500人の感染者が発生し、特に高齢者は重症化しやすいこともあり、2月10日にワイズの特別例会を開催し、多数決で中止を決めました。

しかし、会場費はコンサート当日が開催可能な状態であれば支払うことになります。

演奏家の奈良原さんご夫妻とピアニストには申し訳ないのですが、またの機会にということで断らざるを得ませんでした。

これまでJCBLへの寄付としての地雷廃絶のためのチャリティコンサートは1998年から継続しており、2011年1月に東日本大震災が発生した年は中止となりましたが、以降、寄付先はJCBLと東日本大震災被災者支援の二本立てで毎年開催してきただけに、新型コロナの感染拡大で連続して3回中止となり、コロナを憎んでも憎きれません。

このチャリティコンサートは当クラブ最大の地域奉仕活動で寄付総額7百万円を超えており、両団体に感謝されているとともに、観客の地域住民にも喜ばれていただけに、まさかのことで中止が継続し、クラブとしても今後の対応を迫られている現状です。

今年も中止となってしまったコンサートのチラシ



コロナ禍でのひつじぐもサークルの現状

中大学Y 関根 遼

少しずつ暖かくなってきて春の訪れを感じる今日この頃皆様いかがお過ごしでしょうか。中央大学国際ボランティアサークルひつじぐも委員長の関根遼でございます。さて、2月の定例会では卓話でコロナ禍と大学生活、そしてコロナとひつじぐもという題目のもとお話をいただきました。今日はご参加いただけなかった皆様へ向けて、そして定例会でお話できなかった話も出来たらなと思っております。

コロナが日本にやって来たのは2020年1月、当時私は高校3年生で受験期真っただ中、後のセンター試験を受けていました。それから2月に中央大学に合格しましたがコロナの脅威は収まることなく、思うように高校生ライフを締めくくることができませんでした。

そんななか4月に大学生になりましたが、同時に初めて緊急事態宣言が発令され多摩キャンパスへ行くという大学生ライフは早々に閉ざされました。この時一番困ったのが履修です。

なにを取るべきで、どれが楽単かなどが全くわからずでした。当時の我々にとって唯一の情報網がTwitterでした。半信半疑ながらもTwitterの情報を駆使しました。本来ならすぐにできたであろう、大学に行く、友達を作る、友達と旅行に行くなどは秋学期になってようやくできるようになりました。やはり私の友人はこんな状況下で心を病んでしまうなんてことも少なくなかったです。私はなんとかオンラインで大学の友人ができ、毎晩オンラインゲームに勤しんでいたのも、楽しいステイホームでした。ちなみにいつ私がひつじぐもに加入したかということ、2020年10月です。平時ならあり得ないタイミングですが、コロナによって4月にろくに新歓をやらしてもらえずで、私のような途中加入の部員もそれなりにいました。

今月は4年生の追い出しコンパがあります。僕は時期的に4年生とはあまり関わることなく先輩方は引退されました。現在所属している2年生(新3年)の半分は4年生の先輩を誰一人として知らないという……本当にコロナのせいだなあと痛感しております。2年生になり、少しずつ対面が増え2年生後期は週3回大学に通えるようになりました。大学生活は総じて楽しいですが、やはり時々「コロナが無ければ……」と悔しい気持ちになるのも誠にございます。私がひつじぐもの委員長になってからは対面活動の再会を目標にし日々頑張っています。今は毎月のプリテンで勉強会とゴミ拾いの話が多いですが、いずれ児童館や実習所の話もできると思うのでぜひ期待してください！これからもひつじぐもを温かく見守っていただければ幸いです。そして皆様にも対面でお会い出来たらなと強く思っています。

YMCA 便り

中里 敦

この原稿を書いている時は連日のようにウクライナのニュースを見ます。ウクライナにも、ロシアにもYMCAがあります。国籍に関係なく困難な中にある人たちのために、祈り、手を差し伸べていきたいと感じています。

◆1月29日、「第16回子育て講演会」をオンライン配信の形式で開催した。講師は汐見稔幸氏で「ポストコロナ・これからの時代に向けて！子育てで大切にしたいこと」と題してお話をいただき、414名が参加し好評であった。会員と職員有志による実行委員会が準備と運営を担い、28団体（法人）より協賛をいただいた。

◆全国YMCAで取り組んでいる「YMCAピンクシャツデー」は、今年は2月23日に設定され、その前後の期間に、各部では子どもたちといじめについて考える時間を持ったり、キャンペーンブースを設置したり、ピンクのものを身につけてアピールする等、様々な取り組みが展開された。

◆米国フロストバレーYMCA夏キャンプのリーダー派遣が3年ぶりに実施される。面接や書類審査で選考されたリーダーは、6月16日～8月23日の期間、フロストバレーYMCAキャンプ場で行われる在米日本人の子どもたちを対象としたキャンプのスタッフとして役割を担う。

＜東京YMCA主な行事予定＞

- ・ 早天祈祷会 4月1日 説教者：古賀博牧師
- ・ 「第23回libyチャリティーコンサート」 3月13日
会場：山手センター（オンライン配信もあり）
出演：越智光輝とゆかいな仲間たち／三菱商事コーラス同好会（映像出演）
- ・ 「第31回チャリティーゴルフ大会」 4月14日
会場：PGM総成ゴルフクラブ

中大ひつじぐも便り

関口 遼

少しずつ暖かくなってきて春の訪れを感じる今日この頃皆様いかがお過ごしでしょうか。中央大学国際ボランティアサークルひつじぐも委員長の間口遼でございます。さて、2月の定例会では卓話でコロナ禍と大学生活、そしてコロナとひつじぐもという題目のもとお話をさせていただきました。今日をご参加いただけなかった皆様へ向けて、そして定例会でお話できなかった話も出来たらなと思っております。コロナが日本にやって来たのは2020年1月、当時私は高校3年生で受験期真っただ中、後のセンター試験を受けていました。それから2月に中央大学に合格しましたがコロナの脅威は収まることなく、思うように高校生ライフを締めくくることができませんでした。

そんななか4月に大学生になりましたが、同時に初めての緊急事態宣言が発令され多摩キャンパスへ行くという大学生ライフは早々に閉ざされました。この時一番困ったのが履修です。なにを取るべきで、どれが楽単かなどが全くわからずでした。当時の我々にとって唯一の情報網がTwitterでした。半信半疑ながらもTwitterの情報を駆使しました。本来ならすぐにできたであろう、大学に行く、友達を作る、友達と旅行に行くなどは秋学期になってようやくできるようになりました。やはり私の友人はこんな状況下で心を病んでしまうなんてことも少なくなかったです。私はなんとかオンラインで大学の友人ができ、毎晩オンラインゲームに勤しんでいたのも、楽しいステイホームでした。ちなみにいつ私がひつじぐもに加入したかということ、2020年10月です。平時ならあり得ないタイミングですが、コロナによって4月にろくに新歓をやらしてもらえずで、私のような途中加入の部員もそれなりにいました。今月は4年生の追い出しコンパがありますが、僕は時期的に4年生とはあまり関わることなく先輩方は引退されました。現在所属している2年生（新3年）の半分は4年生の先輩を誰一人として知らないという……本当にコロナのせいだなあと痛感しております。2年生になり、少しずつ対面が増え2年生後は

今月の聖句によせて（2022年3月）

花ひきつれて 春はきたり、
すみか定めつつ 野べに里に
すみれあらわれ 桃はわらい
山吹なびき、 さゆりかおる。

山よ、たたえよ きみの御名を、
谷もいずみも 丘もおどれ
みよ、君は活く、失せしきみは
すくいぬしと よみがえりぬ。

（イエスキリストの復活を祝う、讃美歌155番の2番と4番の歌詞。作曲は東京YMCAの少年長期キャンプ野尻学荘ゆかりの富岡正男先生です。）

例年より、とても寒かった今年の冬でした。それでも春は確実にやってきて、プランターのヒヤシンスが、チュウリップが、水仙が、顔を覗かせ、レンギョウも花を咲かせるときをうかがっています。教会暦では、今年は3月2日より、レント（受難節）に入り4月17日のイエスキリストの復活を待ち望むときをすごしています。

でも、今年、このレントを前にして、理不尽にもウクライナの人々を襲った戦争の悲惨は、想像を超えるものがあります。一瞬にして住むところを失い、さらには家族までも失い、寒空の中を逃げ惑う人々を自分自身の姿に置き換えたとき、言葉もありません。誰もが、できることはなにがあるのか、との問いを自分に発していることでしょう。

せめて、心のうちで、困難をさわめている人々に寄り添い、レントのときにイエスキリストの復活を待ち望みつつ、また、ウクライナの人々の日常の平安の回復を祈りたいものと思います。

花をひきつれて、春はかならず来るとです。イザヤ書の「主はシオンを慰め、そのすべての廃墟を慰め、荒れ野をエデンのように、荒地を主の園のようにされる。そこには喜びと楽しみ、感謝と歌声がある」ことを信じて。

並木信一

週3回大学に通えるようになりました。大学生生活は総じて楽しいですが、やはり時々「コロナが無ければ……」と悔しい気持ちになるのも誠にございます。私がひつじぐもの委員長になってからは対面活動の再会を目標にし日々頑張っています。今は毎月のブリテンで勉強会とゴミ拾いの話が多いですが、いずれ児童館や実習所の話もできると思うのでぜひ期待してください！これからもひつじぐもを温かく見守っていただければ幸いです。そして皆様にも対面でお会い出来たらなと強く思っています。

《 報告 》

2022年2月第一例会 (ZOOMによる例会)

日時：2022年2月26日 17:30~19:00

出席者 (敬称略) :

- メンバー： 山本、茂木、並木 (信)、並木 (真)、小口、長谷川、大久保、中里、久保田メン&メネット、花輪
- ビジター： 菟淵光彦 (東京サンライズ)
- 中大ひつじぐも：関口遼 (中央大学ひつじぐも委員長)、立花岳彦 (中央大学ひつじぐも)

開会点鐘 山本会長

ワイズソング・ワイズの信条

聖書朗読・祈禱 並木 真

卓話： 「ひつじぐもの現状・コロナ禍での学生の苦悩」

関口遼 (中央大学ひつじぐも委員長)

HAPPY BIRTHDAY: 久保田佐和子メネット

連絡・報告事項:

- ① チャリティコンサート中止と今後の対応について：久保田CS委員長
 - ② あずさ部：2021~22年度第2回SDC評議会の報告、第8回部長通信 長谷川部長
 - ③ ワイズナイトフォーラムについて：2月26日 (土) 20時~22時
 - ④ 中大ひつじぐも追い出しコンパについて：3月10日 (木) 20時~21時 ZOOMで
 - ⑤ あずさ部使用済切手報告； 合計1488円の八王子クラブは、あずさ部で1位 山本会長
 - ⑥ メネット献金について： 小口会計
 - ⑦ YMCA 報告 中里主事
- 閉会点鐘 山本会長

Zoomによる ひつじぐも追い出しコンパ
 日時：3月10日 (木曜日) 20時~21時
 場所：Zoom

4年生の先輩がもう少しで卒業されます。先輩方の門出を一緒にお祝いしましょう！ 関口 僚

3月のお誕生日

- 茂木 稔さん 3月11日
- 菅野 牧夫 3月15日
- 長谷川あや子さん 3月19日
- 並木 雍子さん 3月19日
- 茂木 洋子さん 3月23日

高尾わくわくビレッジ便り

館長 菅野牧夫

2月23日(水)はピンクシャツデーでした。わくわくビレッジでもチラシの提示や、スタッフがピンクのパーカーを着てキャンペーンに協力をしました。東京都の施設で大々的にアピールするのは憚られるので、こじんまりと粛々と行いました。

私たちの働くわくわくビレッジでは通常YMCAをアピールすることがしにくく、スタッフのなかにもYMCAのことをよく理解せずに仕事をしている者もいます。

その人たちにYMCAがどういう団体なのかということが伝わらないことにいつも地団駄を踏んでいます。SDGsで平等や平和を訴えている昨今、施設の一員である我々がYMCAらしさに触れる良い機会でした。小さなきっかけですが何かを感じてもらえたらうれしく思います。

わくわくビレッジは2月も宿泊人数が落ち込んでいます。通常ですと2月は1900人程の宿泊がありますが、今年は400人強となっています。大学や専門学校などの学校が春休みに入り、サークルやクラブ活動、ゼミ合宿での宿泊利用が多くなる時期ですが、今年は2件だけにとどまっています。コロナ感染者拡大を受けて、学校からストップがかかっているようです。お客様の笑顔が見られる春はまだまだ先なのでしょうか…。

しかしながらわくわくビレッジの自然はこの1週間で春に移り変わってきました。ビオトープの川や池のいたるところにカエルが卵を産み付けました。まだ寒い日もありますがカエルたちは冬眠から目覚めたのでしょうか？池の周りの梅の木には花が咲きはじめ、灰色だった野原に彩りが出てきました。もう少しするとこぶしの花や桜の花も咲き始めるでしょう。一步一步花満開の春が近づいてきています。自然の春の営みに合わせて、わくわくビレッジにお客様の笑顔があふれる春が訪れてくれることを願っています。

ピンクシャツデーの皆さん

